

2021 年度学校だより



大江の風

今朝は民生委員さんたちが、雨の中朝から見守りに立ってくださいました。ありがとうございました。地域で見守っていただけるなんて、とってもありがたいです。



9月14日
No.73

堂免公園付近の飛び出し、渡鹿交差点の草むらからの飛び出し・・・これは子どもに十分安全指導をすることが1番の策です

「大江小合同安全点検」を行いました

昨日は、中央警察署、中央土木センター（道路関係）、教育委員会、父母と教師の会の方々に来ていただき、本校の安全担当を交え、「合同安全点検」の会議をもちました。この会は、だいたい5年に1回行ってきたもので、大江小は令和元年度に会議を持ちましたが、千葉県で六月に下校中の小学生の列にトラックが突っ込み5人が死傷した事故を受け、再度通学路の安全を総点検することになったのです。



安全担当から9か所危険な場所を説明しました。子どもたちが、近年「ひやり・はっと」した場所です。父母と教師の会の皆様からも、その箇所以外に、九学通り付近の魔の交差点と言われている事故の多い箇所を教えてくださいました。その一つ一つに、警察や道路関係の土木センターの方に、対応策を答えていただきました。私からは、特に高校生の自転車による事故が起きないか大変心配していることを伝えました。「スクランブル交差点も信号が短いうえに、どの方向からも自転車が走り、立ち往生している間に赤信号に変わってしまう。」「県立劇場前の横断歩道も自転車専用レーンがあるのに歩道を行くのでぶつかりそうになる」などです。「警察の方がたってくださいとみんな自転車を押して渡るんですけど・・・高校にも指導をお願いします。」とパトロールの強化と指導をお願いしました。また、「横断歩道の白い線が薄くなって見えかかっている箇所がある」ということを安全担当と父母と教師の会から申し上げると、なんと本年度、渡鹿交差点からスクランブル交差点までの直線にある横断歩道を、塗り替える計画があるそうです。それはドライバーにもくっきりはっきりわかり、大変よかったと思います。

大江校区は、車の量も多いですが、子どもたちにとっては、朝が一番自転車が怖いのではないかと思います。私も横断歩道で交通指導をしていますが、高校生の自転車軍団がくると、恐ろしさを感じます。子どもにはいつも「危険予測回避能力」の話をするのですが、なんせ歩くときに下を向いたり、お友達と話をして横をむいたりしている子どもが多く、何度もひやり・はっとすることがありました。子どもたちの安全教育をしっかり行うことと、安全なまちづくり環境づくりの両方がそろって、子どもの命が守れるものだと思います。こういう会議は、子どもの命を守るのにとっても大事なあとつくづく思いました。大変有意義な会になりました。



4年生の外国語活動。外国の子どもたちの持ち物って違うね。びっくり～



3年生の体育。前転を安全にきれいに回するには・・・先生が悪いお手本を披露。



2年生の音楽。先生の楽しいオルガンの伴奏にあわせてリズム打ち。よくできました。



4年生の図工。「へんてこ山の物語」だそうです。ぼかしやにじみをつかって、独創的な作品が出来ました。すてき♥



ひまわり組さん。図工室でボール当てゲームをしていました。雨の日も体を動かしました。またかるとりをして楽しく学習していました。感染防止もちゃんとしていますね。

